

履 歴 書

(年月日は西暦で記載願います。)

(年 月 日 現在)

ふりがな			性 男	写真貼付欄 1. 本人単身, 胸から上 2. 裏面のりづけ 3. 大きさ縦4.5 cm×横4.5 cm (あるいは, カラー印刷)
氏名 (自署)	⑩			
氏名 (英字表記)			別 女	
生年月日	年 月 日生 (満 歳)	国籍		
現住所	(〒 -) (電話番号)			
勤務先	(〒 -) (メールアドレス) (電話番号)			
学 歴 (高校以上)	学校名・学部学科名	修学期間	卒・修・中退の別	
		年 月 ~ 年 月	卒・修・中退	
		年 月 ~ 年 月	卒・修・中退	
		年 月 ~ 年 月	卒・修・中退	
		年 月 ~ 年 月	卒・修・中退	
		年 月 ~ 年 月	卒・修・中退	
学 位	年 月 日 博士 (大学)			
免許・資格				

職歴 及び 研究歴	年月～年月	事項
学会及び 社会における 活動等	年月～年月	事項
賞罰	年月	事項

※無い場合は「罰なし」等と記載してください。

注) 2頁以内に留めること。

業 績 目 録

【著書及び学術論文等】

No. _____ (氏 名) _____ ⑩

発表著書名・論文名

- ・原著（欧文・和文），総説（欧文・和文），著書（欧文・和文），その他の順に**区別**して，**発表年次順（最近のものから）**に記入し，区別毎に番号を付与する。
 - ・著者はすべて記し，本人名を太字と下線で明示する。Corresponding author に*を付ける。
 - ・論文の場合は，全著者名（掲載されている順番で），論文名，雑誌名，巻，初頁-終頁，発表年（西暦）を記述すること。In press の論文に関しては，掲載証明書を添付する。欧文論文掲載誌に Impact Factor（IF, Thomson Reuters, **2016 年版**）が付されている場合は記入する。
 - ・著書の場合は，全著者名（掲載されている順番で），論文名，著書名，全編者名，発行所，初頁-終頁，発表年（西暦）を記述する。
 - ・代表論文 20 編の通し番号を○で囲む。
- ※記入例は削除して作成してください。

<例>

原 著（欧文）

1. **Okayama P**, Kurashiki D, Kojima M*. Identification and characterization of putative stem cells in the adult ogre. Okayama Journal of Cell Biology. 35: 101-109. 2016
IF:0.324

原 著（和文）

1. **岡山桃太郎**, 倉敷大次郎, 児島三郎*. オニサワラに見出された幹細胞の性状解析. 岡山吉備歯学会雑誌. 2015. 21: 53-61.

著 書（欧文）

1. **Okayama P**, Kojima M*. Stem cells in ogre. Current progress of stem cell researches. Kibi T, Bizen D, Mimasaka A (ed.), Bichu Press, Okayama. pp321-345. 2016.

著 書（和文）

1. **岡山桃太郎**, 児島三郎*. オニサワラの幹細胞. 幹細胞研究（備前祐, 美作清編）. 岡山吉備出版, 岡山. pp405-450. 2013

注) 主要な業績 20 編については，その番号を○で囲むこと。不足の場合は頁を追加してください。

業 績 目 録

【特別講演, シンポジウム等】

No. _____ (氏 名) _____ ④

特別講演, シンポジウム, 及びその他の講演等の発表題目

- ・発表種類別にそれぞれ発表年月順（最近のものから）に記入する。
- ・発表者はすべて記し, 本人名を太字と下線で明示する。
- ・記載内容: 全発表者名 (抄録掲載順), 題目, 発表学会名等, 開催地, 発表年月.

※記入例は削除して作成してください。

<例>

シンポジウム

1. **Okayama P.** Genetic phylogeny of ancient Japanese in Kibi area. Okayama-Seoul Joint Meeting for Anatomy, Okayama (Japan), March 2014.
2. **岡山桃太郎.** 古代吉備国家時代の日本人系統. 岡山吉備歯学会, 倉敷, 2013 年 11 月.

注) 不足の場合は頁を追加してください。

業績目録

【学会発表】

No. _____ (氏名) _____ ⑩

学会一般発表題目

- ・2014年1月以降の学会での一般発表を、国際・国内別に区分して発表年月順（最近のものから）に記入する。
- ・本人名を太字と下線で明示する。
- ・記載内容：全発表者名（抄録掲載順）、題目、発表学会名等、開催地、発表年月。 ※記入例は削除して作成してください。

<例>

国際学会

1. **Okayama P**, Hiruzen C. Jaw movement for unbalanced chewing. Asian Pacific Temporomandibular Research Society, Bangkok, Thailand, April 2016.

国内学会

1. 瀬戸大橋, **岡山桃太郎**, 倉敷豊水. 吉備地域の古代日本人の由来. 岡山吉備歯学会, 岡山, 2016年11月.

(様式3)

学部・大学院等での教育担当状況表（講義，実習，大学院生の指導等）

(氏名)

⑩

年度 (西暦)	授業科目，実習名・内容等	年間時間数	講義・実習の別	担当形態
※記入例は削除して作成してください。				
<例> 2016	[学部] 歯・歯周組織の構造と発生 [学部] 細胞・組織学実習 [大学院] 研究方法論（基礎）	60分×4回 60分×3回 135分×1回	講義 実習 講義	単独 共同・主 単独

注) 2014年度以降の担当状況を記載するとともに，シラバス等を添付してください。

(様式4)

社会活動・貢献，産学官連携や特許等に関するこれまでの活動

(氏名)

印

これまでの活動のうち，特に強調したい内容に関して具体的に記入すること。〔先進医療・先端医療の開発，社会活動（貢献），臨床との連携，国際的な活動等の経歴・資格等を自由記載〕

注) 不足の場合は頁を追加してください。また，証明する資料があればそのコピーを添付してください。

(様式5)

科学研究費補助金・助成金等の交付状況

(所属研究機関より措置された研究費，府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費を含む。)

No. _____

(氏名)

④

補助金・助成金等

- ・役割（代表・分担の別）の別に分類して，開始年度の順に記載すること。
- ・記載内容：研究期間（年度：西暦），資金制度・研究費名（配分機関等名），研究課題名（分担の場合は，研究代表者氏名・所属），研究費（代表の場合は総額，分担の場合は分担額／総額：千円）

※記入例は削除して作成してください。

<例：代表>

- 2003～2005，日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（C）（一般），日本人のルーツと食生活の変遷に関する進化論的研究，3,500千円。
- 2005～2007，日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（A）（一般），頭蓋形態からみた古代日本人の形成に関する研究，35,000千円。

<例：分担>

- 2004～2006，吉備マスカット歯学振興助成金（吉備城財団），頭蓋骨格から推察される古代吉備人の食生活（研究代表者：高松稻荷・中四国大学），分担額2,000千円／総額20,000千円。

注) 不足の場合は頁を追加してください。